

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん：感染性肝嚢胞の患者さん

1、研究の題名『感染性肝嚢胞の臨床的特徴、起炎菌、治療の検討』

研究期間： 2024年8月19日 ~ 2029年12月31日

2、研究の目的

肝嚢胞は画像検査で偶発所見として発見されることが多く、CT検査による有病率は18%と報告されています。無症状で問題となることは少ないのですが、稀に肝嚢胞に細菌による感染を起こし、発熱や腹痛などを起こし、治療が必要になります。治療は抗生剤物質の点滴だけでなく、嚢胞ドレナージという穿刺排液や手術などの侵襲的治療が必要になることもあります。

しかし、感染性肝嚢胞の管理について、エビデンスに基づいた治療戦略はありません。

今回、当院で感染性肝嚢胞治療を受けた患者さんの臨床的特徴や起炎菌ならびに治療について検討し、最適な治療の検討を行います。

3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間： 2014年17月1日 ~ 2024年6月30日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得します。

年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報(生活歴、既往歴、現病歴)、血液検査データ
細菌培養検査(のう胞液培養、血液培養、胆汁培養)、画像検査データ(腹部超音波画像、
CT画像、MRI画像)、治療内容

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院 で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(科名又は部署名) 肝臓内科

(研究責任者名) 栗野 哲史

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(担当者名) 栗野 哲史 (連絡先)0948-22-3800(代表)